

宮之城伝統工芸センターまつり

5月3日と4日、宮之城伝統工芸センターまつりが開催されました。

天気には恵まれませんでしたが、子供竹細工教室や竹製品販売「竹の市」、姉妹村「里村」の物産展（海産物・焼酎）には多くの家族連れが訪れました。

芝生広場でも、竹馬や竹ぼっくり、竹とんぼを使った「風船割りゲーム」「かご入れゲーム」が行われ、ちびっ子たちが小雨のふる中、一生懸命遊んでいました。

また、今年は「コサダケンコ鍋無料試食会」も行われ、長蛇の列ができていました。



大好評の竹細工教室



楽しく遊ぶ子どもたち



「コサダケンコ鍋無料試食会」に長蛇の列



くす玉を割る上園さん親子

また、前後の方には前後賞として、北村町長から特産品の「マンゴー」がプレゼントされました。

平成14年10月にオープンした宮之城ちくりん館の購買者が、1年半を迎えた5月5日で50万人に達成しました。当日は、開館後カウンタダウンに入り、午前11時過ぎに50万人に到達しました。50万人目は、子どもと仲良く手をつないで買い物に訪れた上園鳴海さん（屋地）で、記念品として永福喜作さつま農業協同組合長から「米（ひのひかり）」と「さつま牛肉」がプレゼントされました。

購買者50万人に!!
宮之城ちくりん館



開講式の様子（指導員紹介）

竹細工を学ぶ

5月12日、平成16年度竹細工教室開講式が宮之城伝統工芸センターで行われました。

これは、地域の特性を活かした伝統工芸などの保存・継承を行いながら、心身の健康・お互いの交流を図ってもらうことなどを目的に行われており、今年で19期を迎えました。今年も、1年生組から研究生組までの5教室に県外からの教室生も含め100人が、6人の指導員の手ほどきを受けながら、同センターで3月まで月2回受講されます。

読み終わったら故郷を離れている

家族や知人に送りましょう

